

活動計算書

2023年4月1日 から 2024年3月31日 まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費		22,450	
2. 事業収益			
睡眠衛生育成士養成事業収益		732,655	
3. その他収益			
受取利息	2		
正会員入会金	11,250	11,252	
経常収益計			766,357
II 経常費用			
1. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
謝金	337,334		
印刷製本費	3,306		
旅費交通費	23,980		
租税公課	71,471		
研修費	118,400		
支払手数料	67,287		
通信運搬費	143,690		
その他経費計	765,468		
管理費計		765,468	
経常費用計			765,468
当期経常増減額			889
税引前当期正味財産増減額			889
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			889
前期繰越正味財産額			14,164
次期繰越正味財産額			15,053

貸借対照表

2024年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	541,888		
流動資産合計		541,888	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			541,888
II 負債の部			
1. 流動負債			
役員借入金	530,725		
流動負債合計		530,725	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			530,725
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		14,164	
当期正味財産増減額		-3,001	
正味財産合計			11,163
負債及び正味財産合計			541,888

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によつていま
す。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サー
ビスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記
しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	睡眠衛生育成士 講座事業	睡眠セミナー (市民公開講 座) 事業	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益					
1. 受取会費	0	0	0	22,450	22,450
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0
4. 事業収益	732,655	0	0	0	732,655
5. その他収益	0	0	0	11,252	11,252
経常収益計	732,655	0	0	33,702	766,357
II 経常費用					
(1) 人件費					
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
謝金	49,895	287,439	0	0	337,334
印刷製本費	0	3,306	0	0	3,306
旅費交通費	23,980	0	0	0	23,980
通信運搬費	0	0	0	143,690	143,690
租税公課	0	42,371	0	29,100	71,471
研修費	118,400	0	0	0	118,400
支払手数料	24,557	1,320	0	41,410	67,287
その他経費計	216,832	334,436	0	214,200	765,468
経常費用計	216,832	334,436	0	214,200	765,468

科目	睡眠衛生育成士 講座事業	睡眠セミナー (市民公開講 座) 事業	事業部門合計	管理部門	合計
当期経常増減額	515,823	-334,436	0	-180,498	889

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位：円)

内容	金額	算定根拠
	0	

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位：円)

内容	金額	算定根拠
	0	

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は（ ）円ですが、そのうち（ ）円は〇〇援助事業と〇〇基金事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は（ ）円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

7. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
	0	0	0	0

8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
	0	0	0

9. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 現物寄附の評価方法

現物寄附を受けた固定資産の評価方法は、固定資産税評価額によっています。

(2) 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、()及び()については()に基づき按分しています。

(3) 重要な後発事象

××年×月×日、〇〇事業所が火災により焼失したことによる損害額は××円、保険の契約金額は××円です。

(4) その他の事業に係る資産の状況

その他の事業に係る資産の残高は、()が××円、()が××円です。

特定非営利活動法人に係る事業・その他の事業に共通で使用している重要な資産は()が××円です。

財産目録

2024年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
みずほ（法人）（API）名古屋支店	414,259		
普通 ***3578			
現金	127,629		
流動資産合計		541,888	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			541,888
II 負債の部			
1. 流動負債			
役員借入金			
流動負債合計		530,725	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			530,725
正味財産			11,163